



TITLE:

雑報

AUTHOR(S):

---

CITATION:

雑報. 地球 1932, 18(6): 472-476

ISSUE DATE:

1932-12-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/184109>

RIGHT:

たまま墓に運ばれた。生前に美しくあつた顔が死んで益美しくなつたから人々にこれを見せる爲めであつたと云はれた。澤山な人の群は悼みの涙を流して彼女の葬列に加つた。メヂチ家に集つた凡ての詩人は彼女の悲しき運命を詩歌を作つて悲しみ悼んだ。プルチ (Pulci) 及びボリチアノ (Poliziano) 兩詩人は拉典語で哀悼の詩と短い詩形のエピグラム (epigram) とを作りロレンツォも亦ソネットを作つて彼女を記念した。

## 新著紹介

### ○地理論叢第一輯

京都帝國大學文學部地理學教室

古今書院發行 定價二圓五十錢

本書は京大地理學教室の研究報告で、年四回發刊される豫定である、石橋教授の地理學概、岩根氏の徳川時代地誌の撰述内田氏の阿波の農業地理、織田氏の龜岡盆地、小牧氏の日本の聚落の高距限度、塚本氏の京都市域の地理、別枝氏的美濃の輪中、村松氏の本邦の村落形態、米倉氏の條里、渡邊氏の男鹿半島の地誌十篇を收録し菊版四一六頁に達する、四十

五字詰十五行であるから、普通の雜誌とちがつて紙面にゆとりがあつて見心地がよい、しかし引用文などは、これ以上六號にしてつめた方が却つて効果が多いと考へる、最後に本誌の定價であるが時節柄でもあり、且學問普及の上からみて、せめてこの半額位にしられたならば結構と存じ、切に當局の御一考を乞ふ。(藤田)

### ○大滿洲國詳圖

小林又七著作 兵用圖書株式會社發行

小林又七著作といふこの詳圖は、二百萬分の一の美はしい着色六度刷であつて、權威ある新しい地圖といふべきであらう東亞百萬分一興地圖を原本として新しく増訂したもので、時局を理會するに好都合である。掛圖とした方の定價一圓三十錢である。折本ならば七十錢だといふ。大阪和樂路屋發行の新滿洲國大地圖はこの詳圖によつて、やゝ簡略化されたものであるが、この方は知友齋藤巳代治氏の刪削である、民間の著作として見るべきものゝ一つである、新しい滿洲國の刻圖として同時に同じ形のものが、東、西に二つ出たことを報告しておく。(藤田)

## 雜報

### ○大阪市外京阪沿線守口より發掘せられたる半

化石に就いて

大阪府北河内郡守口町大字土居<sup>ドキ</sup>地内に

於ける掘下げ工事中偶然発見採集せられたる半化石とも稱すべきものを大阪府立四條畷中學校教諭古口唯氏より送附せられたので其れに關する簡單なる報告を此處に記して置く。送附せられた介は大型のもののみであつたが勿論小型のものも相當に在つた事と想像される以下其の種名を列擧すれば

1. *Arca inflata* Reeve
2. *Anomia ischkei* Deutzenberg et Fischer
3. *Cardium (Fulvia) muticum* Reeve
4. *Dosinia (Dosiniscia) japonica* (Reeve)
5. *Ostrea (Crassostrea) gigas* Thunberg
6. *Polineces rehinana* Dunker
7. *Rapana thomasi* Crosse
8. *Trapezium japonicum* Plisbry.

此等の介を埋藏するのは現地表より約九米の深さに於いて初めて達する青灰色の砂質粘土層で有史以後比較的新時代の生成にかゝわる事は云ふ迄も無い。此の粘土中にはかなりの砂粒が含まれて居る。特に多いのは石英粒で黒雲母片も亦相當に在る。

介の中で最も多量に産するものは *Ostrea* ぐしく送附せられた標品の中で最も多い。此等の動物群は全く *Blakish water* のものと黒田先生に依れば現在の堺市三寶海岸の動物群と全々一致するとの事である。此の事實より當時守口附近は河口にかなり接近した淺海であつたと想像される。今後何かの機會に守口以北の地に於ける介層の限界とでも云ふ可

きものが明かにされるれば神武天皇御東征當時の御模様も餘程詳かになるに違ひない。

尙既に報告せられて居る大阪難波驛地下の介層と此の土居地内の介層とは殆んど同時代と思はれると云ふ事を附記して此の項を終る。(小野山)

## ○英領東アフリカ二洲と日本

英領東アフリカ二洲 ケンヤ、ウガンダは面積約三十二萬平方哩即ち現在の日本帝國よりも約六萬方哩だけ廣大であるが、人口は僅々六百六十五萬に過ぎず、英國人其他の白人は二萬に足らぬ、此二洲の特色は農産資源極めて豊富で、農産物にして二洲に産出を見ざるものなしと稱せらる、大戰後英國は棉花自給を圖るべくウガンダに棉花耕作を奨励し、歐洲人の居住に快適するケンヤの奥地高原に白色東アフリカを建設すべく主として除隊軍人に對し移住を奨励し、移住英國人等は茲に珈琲、玉蜀黍、サイザル、小麥の耕作を開始するに至つた、之が今日棉花、珈琲、玉蜀黍、サイザル、小麥の四つがこの二洲の輸出を代表し、其豐凶が二洲の繁榮を支配する所以である。

二洲の開拓は日尙淺きが故に開墾せられた部分は鐵道沿線狭小の地帯にすぎず、尨大なる領土の大部分は依然原始狀態に取りのこされてゐるから、これが開發し盡くさるゝ曉は二洲は世界屈指の農産國となるに至るべしと考へられる。

大戰後英國が眞鍮に二洲の開發に努力したので、二洲の生産輸出は年々に増進し、一九一四年の輸出百萬磅にすぎな

つたのに、一九二九年には七百萬磅に進み、輸入も二百五十萬磅が七百八十五萬磅に増加した。しかし一九三〇年後輸出は俄然激落し一九二三年以來の低額輸出合計八百五十萬磅に過ぎざるに至つた、ついで一九三一年には更に不況のために減退したので、民衆の不景氣は嘗て見ざる状態だといはれた。その間に精糖、紅茶、バター、紙巻煙草、葉煙草、洗濯石鹼等は輸入するよりも輸出が増進して、自給自足の方向をしめしたと同時に、日本製綿、天絹布、人絹布、メリヤス、ゴム靴、珐瑯鐵器、模造寶石、洋傘、電球、自轉車の輸入が同様跳躍的に激増し、中にもセメント、電球、自轉車以外のこれらの商品は日本が嶄然頭角を現はして他國を凌駕し最大の供給國とまで進み、一九二六年に日本の供給額は二十四萬磅であつたが、一九三一年には四十八萬九千五百磅となつて、全體の一〇・一%に増進し、インド、オランダの二國を凌ぎ、米國と相並んで英國に次ぐことになった。

しかし日本の東アフリカに對する供給はまだ需要の十分一に過ぎない、進展の餘地があるから此際大に努力しなくてはならぬ、主要輸出品たる棉花は色が白く纖維はエジプト棉程の良品ではないが、カリフォルニア州産の良棉に比敵する、その産品は距離の關係で主として印度に輸出されてゐる、一九二九年迄は毎年可なり日本へ輸出したが、一九三〇年以來殆ど杜絶した。産地はウガンダで黒農の事業である。これに次ぐ珈琲は主としてケンヤで白人農業の中心である、其質が

良いので一九三〇年には棉花よりも輸出額が増加した、同時に白農の玉蜀黍も好成績で珈琲と共に一九三〇年の輸出は最高に達した、當國マガヂ湖に生ずる天然曹達は主として日本に仕向けられ最近十年間に四十六萬五千噸を輸出したが、其中日本へ三十萬一千噸を送つた。

轉じて輸入の方面をみると一九三一年に英國は第一位で四〇・七%、米國一〇・一%、日本一〇・一%、インド九%、オランダ五・九%、ドイツ三・八%である、世界的不況に不拘躍進したのは日本で、棉布の輸入二千七百萬ヤードに達し、英、米、印度の輸入額合計一千六百萬ヤードを凌駕したが、生地棉布の外に晒、捺染、染糸織の量が多い、其他の綿製品では英國品の三分一にも達しなかつた、つぎに人絹では一九三一年には殆ど市場を獨占して九三%をしめ英、獨、伊三國の輸入は殆ど杜絶したのである、メリヤス靴下ゴム靴も同様であるが、關稅障壁の段々高くなつて行く今日、かうしたことがいつまでつづくかと考へさせらるゝ。

### ○ランカシヤの産業と労働

ランカシヤを中心としチェシヤ及ダービシヤの一部を加ふる英國の産等國內には人口四百二十萬内外あつて、其所に失業保險加入労働者約百四十八萬八千を算する。マンチエスター大學の報告によると。

第一、綿業労働者過剩、一九二九年の失業約六萬三千人、(男二萬一千女四萬二千)之に操短による一部休業を加ふる時は更に一萬乃至一萬五千を増加する、十八歳から廿四歳まで

の青年が高率をしめてゐる。かれらは幼年工から青年工になつて、更らに上級に進むべきであるが、空席なきために依然同一作業をしてゐる、自ら新入者の收容ができない。

一九三〇年以來綿業界で轉業計劃なるもの實施されてゐるが現在では何の役にも立たないらしい、綿業は他の産業とちがつて家族各員が之に従事しうること、女姓に適すること、結婚しても繼續しうる職業であるからである、且、職工自身は現在の失業が永久性でないだらうと考へて、容易に轉業しない。

第二、綿業の機械化と勞力過剩、合理的經營をやること、器械方面に High draft Spinning, High Speed Winding, High Speed Warping の適用がある、すべての機械の改良で著しく生産能力を増加し且又受持織機増加、並に自動織機据附等の擴張があるので、何れも失業者漸増の原因となつてゐる、目下懸案たる八臺織機受持制を實行すると二割乃至三割、全體の生産費で二分乃至七分の節減が出来ることは試験的に明である、かりに該制度を在バーンレイ三萬臺に適用すると現七千七百人の職工の中二千五百人は當然失業するであらう。

第三、其他産業過剩問題 調査地内の炭鐵勞役者は約二萬人の失業である、一九二三年以來不況に見舞はれ同年十一萬二千人の職工が、一九三〇年には六萬八千人に激減した、保險加入職工も十一萬七千から九萬一千に遞減した、これらの

過剩人口は當然他の地方に行かねばなるまい。

一般機械工業界に於ける就業人員は一九二三年度の九萬一千四百より八萬五千に減じた、紡績器械工業はことに閑散だから一萬五千の失業がある。

ワージントン其他に於ける針金業、金網工業並にウキガンアラートン地方の製鐵工業は過剩程度比較的僅少である、これは事業が小さいからでもある。

ウキドセス及セントヘレンス化學工業地では約三千の失業がある。

第三、發展工業 但し綿業以外に就業人員の増加した工業がないではない、電氣工業従業員は四割増、電車、乗合自動車従業員は七千人から一萬人に増加、裁縫就業者は八年間に八千人十割の増加である。

人絹工業、人造石製造、硝子瓶製造、靴下製造、洗濯業、煉瓦、タイル製造、建築機械業、印刷業、家具製造業、壁紙製造業

の如きいづれも増加せる傾向である、してみると古い産業に執着しないで、新しい工業に移るのが良策である、かくて綿業のみの單一作業の都市は漸次荒廢する、ある都市は、いろいろの産業を持たねばならない、つぎに電化を普遍ならしめたい、しかし英國ではかゝる新しい工業でも、ランカシャの失業救済には何らの役に立たなかつた。

これによつて之をみると、農業でも南米各國の單一耕作が

現在の時代に適當しないやうに、工業に於ても同様な現象が起つてゐるといへる、我國の都市居住者、又は經營者は思を深く茲に致さねばならぬであらう。

### ○メキシコ國油田

メキシコの油田工業は年をふるこ  
と二十一年なるが、其間石油及其の誘導等の產出量は一億五  
千九百萬立方メートル即ち十億樽三十億ペソに達せり、世界  
最大石油產出國より見ればメキシコ國は第六位にありと雖も  
現在探掘せられつゝある面積は僅に四千ヘクタレスにして埋  
藏面積は約六十萬ヘクタレスと稱せらる、かく僅少の探掘面  
積にも不拘一九三一年中の生産高は五百二十五萬二千立方メ  
ートル即三千三百四萬樽に達せり、現在探掘されつゝあるは  
タムピコ港に注ぐパスコ及タメン兩河沿岸を初めとし、ツス  
パン及ババントラ地方テウンアンテベツク地峽東北部及タバ  
スコ中央地帶等なり、石油埋藏地方としては將來を展望さる  
ゝものは、タマウリパス及ガムベチエー兩州をはじめユカタ  
ン州の南部地方下カリフォルニア西海岸よりソノラ、シナロ  
ア、ナヤリット及チアパス各州の太平洋沿岸、米國テキサス  
州に接する北部國境地方、ドウランゴ、ハリスコ、コアウイ  
ラ及ヌエボ・レオン各州等あるがまだ詳に調査されてゐない  
から、果して石油が埋藏し居る地方なるや疑問とする所なり

開鑿、輸送、保存倉庫及精油業の設備は最も新式のものに  
して、輸送管五千六百十二キロメートルを有し、保存倉庫の收  
容量能力は千二百九十萬四千八百八十一立方米即八千五百五十二萬

一千四百樽なり、尙精油品の生産能力は一月三十萬八千五百  
十二樽なり。

最近數年間に於ける自動車數及ガソリンの使用量の急激な  
増加を示せるは、ガソリンの下落と共に道路の改良に依る  
ものにして過去七年間に自動車數は倍加し、現在八萬臺を算  
し、從つてガソリンの消費量も之に伴ひて激増し、一九二五  
年中の全國の消費量は一億四千萬リットルなりしが、一九三  
一年には二億五千八百萬リットルに増加せり。

### ○第五十七回文檢地理科豫備試驗問題

一、沙漠の種類を擧げ其の分布を説明せよ。

二、世界に於ける人造絹絲の生産及び貿易に就て述べよ。

三、アメリカ地中海及其の陸環の政治地理を論述せよ。

四、北部朝鮮と滿洲との耕作業を對比して論述せよ。

五、左の諸項につきて知る所を記せ。

(イ) シェール Schären 海岸の特徴

(ロ) 南米に於ける單一耕作

(ハ) 西部アジアにおける歐亞連絡船

(ニ) 港としての長崎の特徴

以上四時間(本年十月施行)

### 質疑應答

問 シェール Schären 海岸の特徴